

ここが聞きたい！
いっぱん

質問

若月忠男 議員

口蹄疫伝染病対策と支援は

町長 消毒薬購入費と踏み込み槽を
配布するよう予算計上した



問 このところ宮崎県で発生した、家畜伝染病の一つである口蹄疫による牛・豚に膨大な被害が続出し、5月30日現在で10万頭以上の、牛・豚・山羊の家畜が殺処分され、埋却され続けています。奥出雲町としての防疫体制の具体的な取り組みは、

答 奥出雲町和牛改良組合並びに酪農組合では、口蹄疫の発生報道を受けて、緊急役員会を開催され、各農家に対して、口蹄疫症状の写真入りパンフレットを配付し、注意を喚起するとともに、組合においては塩素系消毒薬スミクロールの配付を決定し、既に配付が完了しております。しかし、組合予算での薬剤配付には限りがあることや、口蹄疫の終息が長引くおそれがあることから、6月議会で提案しております補正予算案において、来年3月末まで消毒を実施できるよう薬剤購入費、並びに薬剤を入れるための踏み込み槽を配布するよう予算計上させていただいたところです。

問 県におきましても、4月末までに全畜産農家に対し電話による聞き取り調査を実施されており、現在のところ異常は県内からは報告されております。また、5月中旬までには全畜産農家へ、口蹄疫感染家畜の写真と消毒方法が記載された資料が配布されたほか、畜舎周辺の消毒を行うための、消石灰の配布が行われているほか、市場の中止や、延期に伴い資金繰りを、支援するための低利資金が創設されたところでございます。

問 町民の皆様方にも、口蹄疫の防疫対策の協力や、風評被害がないよう情報提供は。

答 連日この問題はテレビ、新聞等で全国に報道されております。町民の皆様も十分御承知のことと思います。現在のところ、町内であえて一般に向かつて周知する考えはありませんが、今後の状況を踏まえて、対応してまいりたいと考えております。

問 セリ市場延期に伴う生産者支援策は。

答 6月2日市場が再開され、363頭の売買があり、今後の状況を見ながら適切に対応してまいりたいと思っております。

問 町民の皆様方にも、口蹄疫の防疫対策の協力や、風評被害がないよう情報提供は。

答 連日この問題はテレビ、新聞等で全国に報道されております。町民の皆様も十分御承知のことと思います。現在のところ、町内であえて一般に向かつて周知する考えはありませんが、今後の状況を踏まえて、対応してまいりたいと考えております。

問 経営安定化策の考えは。

答 セリ市場の開催が安定的に、定期的に行われないと、その間、飼養期間が延びて費用もかさむという問題も抱えているだろうと思います。これらにつきましても、和牛改良組合の皆様の見をよく聞きながら対応してまいりたいと考えております。